

# GPA 制度について

崇城大学 教務課

**GPA (Grade Point Average)** とは、諸外国の大学で採用されている制度で、単に卒業に必要な単位を取得するだけでなく、皆さんの登録科目に対する学習意欲が高まることを目的とした評価制度です。大学での学びを考えた時、皆さんが取得した単位数を「学びの量」、取得した成績を「学びの質」とするならば、**GPA 値**は「学びの質」を可視化するための一つの指標と言えます。仮に **A さん**と **B さん**が同じ期間に同じ単位数を取得した場合、二人の「学びの量」は同じですが、**A さん**は全て秀、**B さん**が全て可だったと仮定すると、二人の「学びの質」には大変な差が生じます。また、平均点や総点の算出に不可は含まれていませんが、**GPA 値**の算出では不可が含まれますので、**A さん**と **B さん**の平均点や総点が同じでも、不可の数が多い方は **GPA 値**が低くなります。更に通算 **GPA** を算出する場合、前年度の不可は、次年度に再履修で単位を取得したとしても、消えることはありませんので（前年度の不可科目の登録単位数が分母に残ります。）、再履修にならないように、出来るだけ定められた履修期間に成績を取得するように努める必要があります。このように、**GPA 値**を評価指標にすることで、今まで見えなかった「学びの質」が見えてくることとなります。文部科学省は大学に対して教育の質の保証を求めています。が、**GPA 制度**も既に義務化されている **CAP 制度**とも強く推奨されている制度です。

## GPA の計算式

$$\text{GPA 値} = \frac{\text{(評価毎の係数} \times \text{各評価の単位数) の総和}}{\text{履修登録単位数の総和 (卒業要件以外の科目及び認定科目の単位は除く)}} \\ \text{(係数 秀=4、優=3、良=2、可=1、不可=0)}$$